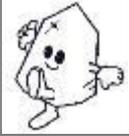


石川自治センター だより



第154号

発行所：石川自治センター
発行者：石川自治センター長 矢内陽介
〒963-7859
石川町字南町 36
Tel 26-1554 (FAX 同)



令和4年石川自治センター長 年頭の挨拶



新年あけましておめでとうございませう。皆様にとつて良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

新年を迎えるにあたり皆様一言ご挨拶を申し上げます。石川自治センターの活動は皆様方へ支えられ朝市、工房つくっぺ活動、レディース活動、寿大学活動等いろいろな活動をしてまいりました。おかげ様で町民の皆様が大変喜ばれております。又、一昨年から続いておりますコロナ禍の中、皆様方には感染防止対策の行動を取り、自治センターの活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。コロナは現在小康状態がづづいていますが収束するのはまだまだのようです。今年も健康管理に十分注意し、感染防止に努め活動して頂ければと思っております。そのような中、昨年より自治協議会設立に向けて活動致しました。区長さん始め関係者の皆様には大変お世話になりました。今年も何かとお世話になります。

最後に今年も皆様の活動しやすい場として自治センターの役割を果たせるよう頑張りますので、緑川事務局長共々宜しくお願い致します。

敬具

センター長 矢内 陽介

地域自治協議会第1回設立準備委員会説明会

2日(木)地域自治協議会設立第1回設立準備委員会をモトガツコで行われた。行政区長と準備委員会委員他29名が出席して行われた。協議事項は、(1)地域自治協議会概要並びに設立準備について(2)準備委員会規定案について(3)役員選出について(4)今後の進め方等について、緑川係長が説明した。その後、(5)質疑応答に入った。説明会に初めて出席の委員からは、協議会設立に向けて賛同するが、住民に対しては、どのように進めるのか。準備委員として何をするのか分からない。設立に向けてイメージ出来る説明がない他の意見が出た。町からは意見を踏まえ、住民の総意として受け止め、あくまで一方的ではなく丁寧な説明して行きます。今後、話し合いの場(グループワーク等)で、課題解決へ進めて行きます。尚、役員選出については次回に持ち越された。住民説明の一環として、レディース学級の皆さんへ概要説明及び意見交換を始めた。

自治協議会について

現在自治協議会設立に向けて準備中です。ではなぜ今、自治協議会が必要なのかを簡単に説明したいと思います。現在の石川町は少子高齢化や人口減少が進み各種団体の活動が思うように出来なくなっているのが現状です。今後は時代に合った団体や組織にするため検討する必要があります。この中でよく問題となるのは、同じ人が同じ組織のなかで何年も活動しているとか、いくつもの団体に当り職として名を連ねているなどの問題がよく聞かれます。このような問題をそのままにしていると自然消滅してしまう団体が出てくる可能性があります。また現在には各種団体の中で問題が発生しても会長一人で問題を解決することが多々あったかと思えます。それらを解決するため石川地区にも町内の地区同様に、そのような話し合う組織が必要となってきました。その他、地域の様々な問題などの対策として石川地区内に自治協議会を設立して各団体の問題を協議会内で話し合い、そして助け合いをする事により、より活動しやすい体制を作りたいと思います。最後に石川自治センターは各行政区又は自治

みんなでノルディックウォークin石川

月に1度、みんなで交流ノルディックウォーキング会。健康増進と石川町魅力を発見しましょう。石川五山のひとつ石尊山に登ってみよう。(女坂と今出川沿いコース) 石川のまちなかを一望できます。

- 1、日時 令和4年1月22日(土)10時～12時。
- 2、場所 石川自治センター(雨天の場合クリスタルパーク体育館)
- 3、対象者 第1期、第2期講習会受講者
- 4、参加費 500円(保険料、講師交通費に充当)、ポール借用別途500円。
- 5、申込 1月14日(金)石川自治センターへ ☎26-1554 (FAX 同)



会の問題や各団体の問題を利用して話し合う場所に、頂き皆様が集い問題を解決する場所になれるようにしたいと思えます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

レディース閉講式、寿大学学習会

レディース新田（鈴木京子委員長）は、9日19時より新田ふれあいセンターに13名が出席、令和3年度閉講式を行った。矢内センター長より「積極的にもづく



レディースきたす（竹島君委員長）は、9日18時より石川自治センターで9名が出席、閉講式を行った。矢内センター長より「元気に楽しく活動が出来ました」と、労いの言葉を頂いた。令和3年度事業報告と令和4年度事業計画について協議した。報告では、コロナ禍でものづくり活動を行わず、健康増進を目的にグラウンドゴルフを3回行った。参加者が減少している。事業計画では、移動研修（ものづくり）、健康増進等を行うことを確認した。協議終了後、恒例の竹島委員長手作りの体操を行った。



レディース外楨（水野昭子委員長）は、14日王子平集会所で、7名が参加閉講式を行った。「文化祭展示作品の出来栄に感心した。」とお褒めの言葉を述べた。事業計画では、ものづくりや健康増進（ヨガ教室）を行った。参加者が減少した。次年度計画は、皆さんで話し合い決定する。



業報告では、ものづくり、健康増進。コロナ感染者縮小の11月上旬3年振りの移動研修も行った。次年度事業計画については、皆さんで話し合い決定する。

り、文化祭展示、移動研修等が無事に出来て良かったです。「と労いの言葉を頂いた。事業報告では、ものづくり、健康増進。コロナ感染者縮小の11月上旬3年振りの移動研修も行った。次年度事業計画については、皆さんで話し合い決定する。



新田寿健康大学（小豆畑幸司委員長）は、16日新田ふれあいセンターに25名が参加、学習会を行った。保健福祉課健康増進係係長、緑川真理子氏を講師に招き、健康講話「健康診断結果の見方外」を学んだ。令和3年度高齢者検診結果を参考にして、個人の結果と照らし合わせ今後の健康生活にいかします。介護保健加入者367名の総合的な検診結果は、異常なしが2名、要指導16名、通院継続151名、要医療198名となっている。75歳以上のデータからは、課題として、高血圧、塩分の取り過ぎの方が多く、多くの方は治療成果が出ていないようです。自分の結果を確認しながらメモを取っていた。まとめとして、水分補給（毎日1.5リットル以上）野菜や果物を摂る。規則正しい生活、外出をする他。継続的に行うことの大切さを学んだ。

おめでとうございます。
優勝 須藤 2位 増子 3位 前田 4位 高田 5位 吉田

石川寿大学（鈴木芳幸委員長）は、21日石川自治センターで学級生26名（女性21名・男性5名）が参加、12月学習会を行った。室内で運動をテーマに「クロリテイ」とスカットボールを行った。競技は、各種目を1回2種目合計で順位を決定。（順位は左記の通り）女性陣は、一打ごとに掛声やナイスショットには歓声と拍手で笑顔が溢れていた。男性陣4名は、初めての競技と云うことで悪戦苦闘しながらも楽しそうに行っていた。運動後は、脳トレ（一筆書き、なぞなぞ他）を行った。真剣に取り組んでいました。お疲れ様でした。



*まちなか工房「つくっぺ」一部教室は、1月お休みです。籐手芸教室。

1月度行事予定*諸般の事情により日時等変更になる場合もあります。

日	曜	行事予定	備考
1月3日		迄石川自治センターは休館となります。	
4	火	仕事始め	石川自治センター
14	金	自治協議会第2回設立準備委員会 18:30	モトガッコ
18	火	石川寿大学学習会 9:30~	石川自治センター
20	木	新田寿健康大学学習会 9:30~ レディース猫啼閉講式 19:00~	新田ふれあい 西田屋
22	土	ノルディックウォーキング 10時~	石川自治センター



まちなか朝市会（山田達也会長）は、お客様と朝市出店者からの募金を8日社会福祉協議会へ寄付。矢内センター長が代理で小豆畑局長へ手渡した。

